

# 日中青年代表交流 2018

—静岡県と浙江省の友好・発展の架け橋に—



主催：静岡県教育委員会  
実施：日中青年代表交流実行委員会

## 主催者挨拶

### 日中友好の輪をさらに広げよう

静岡県教育委員会 教育長 木苗 直秀



日中青年代表交流は、静岡県教育委員会と中国浙江省青年連合会との間で締結した「青年友好交流に関する協定書」に基づき、平成23年より毎年実施しております。

本事業による交流は、両県省の青年同士が、経済、産業、教育、文化等さまざまな分野で幅広く繋がっており、大変意義のあることと考えております。

一昨年、浙江省で開催された友好提携35周年記念行事に出席し、中国の伝統や文化とともに教育や経済の分野における強さを感じました。また、中国の青年たちと心温まる交流をすることが出来て、とても記憶に残るものになりました。今後も日中友好の原動力である本事業を通じて、お互いに歩み続けていきたいと思います。

結びに、本交流の実施にあたり、御尽力いただきました両国の実行委員会の皆様をはじめ、青年たちの参加に御理解を頂きました静岡県及び企業、団体、学校関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

## 実行委員会会長挨拶

### 日中友好の輪の広がり期待を寄せて

会長 栗原 績（静岡県日中友好協議会理事長）



今年度で8年目を迎える日中青年代表交流では、静岡県と浙江省の青年が相手国を相互に訪問しています。

中国浙江省及び上海市での企業・学校への訪問等では、AIやICTの分野で技術革新が進む中国の活気や中国人のたくましさ、その中国で事業展開をしている日系企業の努力、日本と中国の教育に対する考え方の違いを肌で感じ、自分自身の仕事や生活について考える機会となりました。

また、ホームステイでは、青年同士が時間を共有することにより、人の温かさに触れ、国境を超えた友情を育む場となり、事業終了後も様々なかたちで交流を継続する契機となっています。

本交流では、中国の青年との交流に加え、本県青年同士の異業種の「横」の交流と、前年度までに参加した県内青年との年度を超えた「縦」の交流も進んでいます。日本と中国の両政府は、2019年を「日中青少年交流推進年」と銘打って、日中間の青少年交流を拡大していくとしています。本県においても、「中国」という共通項でつながった県内の参加者同士が、業種を超えた絆も深め、両県省にとって「日中友好の架け橋」として、大きな役割を果たされていくことを期待しています。

## 参加者代表挨拶

朋友会（交流既参加者組織） 平成30年度代表 鈴木 正彦



平成最後の朋友会代表になりました、鈴木正彦です。日中青年代表交流に参加して、中国の文化に触れ、中国の方と話し、自分の視野を広げることができました。参加者それぞれが、多くの成果を感じることでできる事業でした。中でも、いちばんの成果は、「静岡県青年団の絆」だったと感じています。開講式では初対面だった仲間と、閉講式の頃には絆が深く強くなりました。微力ながら協力させていただいたことを嬉しく思っています。今後も同じ年代の仲間だけでなく、多くの方々との交流の架け橋として関わり続けることができることに感謝して、簡単ではありますが挨拶の言葉とさせていただきます。

## 浙江省青年連合会挨拶

### 尊いお客様がお見えになると雨が降る

浙江省青年連合会主席 王 征



中国には「尊いお客様がお見えになると雨が降る」という格言があります。今日は皆様がお見えになり、雨が降りました。私は、皆様に感謝しております。

杭州の西湖のほとりで、皆様とお会いできたことを嬉しく思います。私個人の記憶では、今回のような交流に7回参加させていただきました。私は、浙江省青年連合会を代表いたしまして、今回の友好交流の開催にお祝いの意を表したいと思っております。

浙江省と静岡県は、友好関係を締結して36年になりました。2001年に青年同士の交流が始まったという記憶があります。2009年には、浙江省青年連合会と静岡県教育委員会との間で友好交流協定を締結しました。その年、浙江省の青年代表団を静岡県に送り、友好交流も始まりました。今年で、中国と日本との間の青年相互交流人数は550人になりました。この人数は、10年間の中日両国青年の交流実績であり、双方の交流が盛んな証です。

今回、栗原団長が静岡県青年交流代表団を率いて浙江省を訪問されたことは、両県省の青年の長期にわたる連携と協力関係の強化、そして相互理解と親睦を深めることにおいて、とても重要な役割を果たすと確信しております。

浙江省青年連合会と静岡県教育委員会がさらに提携関係を深め、友好関係の窓口として務めていくことを切望しております。最後に、今回の交流が円滑に終わるよう、そして、浙江省と静岡県の間の青年交流が長く続くよう願っております。

[平成30年8月12日開催 浙江省交流 歓迎レセプションにて]

## 目次

I 事業概要	3
II セミナー・交流	4
III 日中交流架け橋プラン	21
IV 新聞掲載記事	23
V 広がる交流の輪	26
VI 平成30年度 関係者名簿	27

# I 事業概要

## 1 目的

静岡県内の経済、産業、教育、行政など各分野の青年代表が、中国浙江省の青年との交流を通して、相互理解と信頼関係を深め、人脈形成や情報交換等を行い、参加後、継続的に日中交流に関わることにより、発展的な協力関係を築く。

## 2 概要

- (1) 参加条件 中国との交流に関心があり、日中の友好交流の促進や相互発展への取組に参加する意志のある県内の20代から40代までの青年。
- (2) 参加者数 静岡県青年 28人（平均年齢32.6歳）  
浙江省青年 浙江省交流 28人（同35.0歳）／静岡県交流 28人（同35.3歳）

[内訳] 性別（人）

	静岡県青年	浙江省青年	
		浙江省交流	静岡県交流
男	18	20	16
女	10	8	12

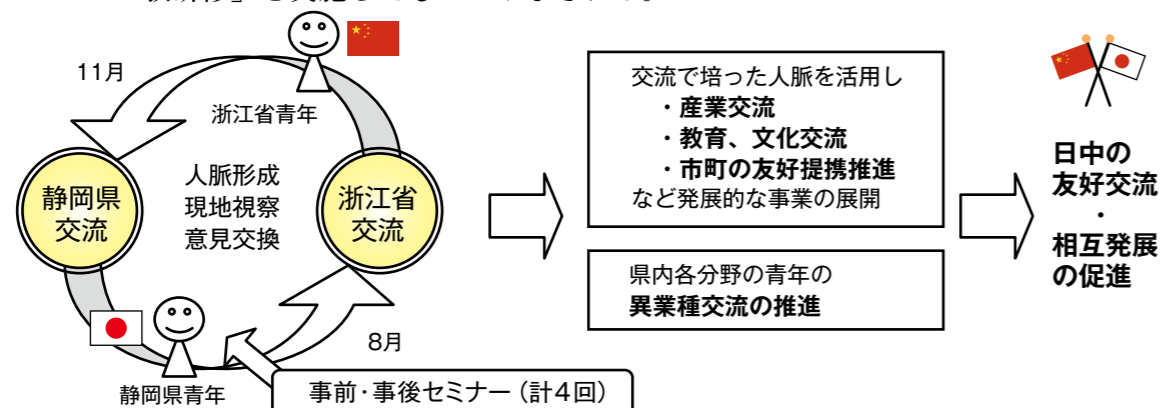
所属先（人）

	静岡県青年	浙江省青年	
		浙江省交流	静岡県交流
企業・団体	10	17	20
教育	12	3	3
行政	5	7	5
学生	1	1	0

## (3) 内容・日程

セミナー・交流	月日	会場	内容
第1回セミナー	6月30日(土)	県庁	開講式、オリエンテーション、中国語講座等
第2回セミナー	7月28日(土)	県庁	中国事情講座、浙江省交流ガイダンス等
浙江省交流	8月8日(水) ～15日(水) 〔7泊8日〕	中国 浙江省 上海市	【静岡県青年⇒浙江省、上海市】 ホームステイ、歓迎レセプション、現地学校視察、 現地・日系企業視察、杭州・上海市内視察等
第3回セミナー	10月13日(土)	県庁	浙江省交流報告会、静岡県交流ガイダンス等
静岡県交流	11月16日(金) ～19日(月) 〔3泊4日〕	県内	【浙江省青年⇒静岡県】 歓迎レセプション、ホームステイ(1泊2日)、 青年意見交換会、静岡県内視察等
第4回セミナー	12月15日(土)	県庁	交流報告会、グループディスカッション、閉講式

- (4) 参加費 15万円（ただし、セミナー・交流参加に伴う集合場所までの交通費、食費、パスポート取得料、海外旅行保険料他、個人的経費は含まない）
- (5) その他 本交流に参加した県所管公立学校教員は、中堅教諭等資質向上研修の「社会体験研修」を実施したものとみなされる。



# II セミナー・交流



## 第1回セミナー・開講式

(6月30日(土))

場所/静岡県庁別館20階第1会議室ABC

過去参加者（大石有香氏、長岡歩美氏、小栗志介氏、津田直子氏、安部和人氏、長野裕紀氏、益田里奈氏）にご協力いただきました。



開講式 主催者挨拶 木苗教育長



アイスブレイキングで自己紹介

### 1 開講式

- ・主催者挨拶 静岡県教育委員会 木苗 直秀 教育長
- ・日中青年代表交流実行委員会会長挨拶 栗原 績 会長

### 2 オリエンテーション

事業説明/昨年度の交流報告（薩川委員、杉本委員）

### 3 グループワーク① 仲間づくり

アイスブレイキング/自己紹介/役割決定

### 4 講義「中国浙江省事情講座」

講師 高林 久記 氏（静岡県日中友好協議会 事務局長）

### 5 グループワーク② 浙江省交流準備

グループワーキング計画作成

### 6 中国語講座（挨拶、自己紹介）

講師 王春華 氏、烏徳巴拉 氏、尹燦燦 氏、宋亜茹 氏、  
黄江 氏、胡磊 氏



役割を決定し、いざ準備



中国語講座  
語学レベルに合わせて、中国人講師から挨拶や自己紹介を学びます。



## 第2回セミナー

(7月28日(土))

場所/静岡県庁別館20階 第1会議室ABC

講義を通して、経済圏構想「一帯一路」について考えました。過去参加者（藤森数正氏、石川純也氏）にご参加いただきました。



義烏の歴史的な背景、静岡県とのつながりなど、お話していただきました。

### 1 浙江省ガイダンス

交流日程、準備等の確認/渡航ガイダンス

### 2 グループワーク

浙江省交流グループワーキングのコースプラン作成

### 3 講義「静岡県出展ブースより中国を見る」

講師 濱下 武志 氏

(静岡県立大学グローバル地域センター センター長)

### 4 浙江省交流レセプション準備



杭州や上海で実施するグループワークの内容を、班ごとに議論し、コースを策定しました。



浙江省交流のレセプションで披露する「WAになっておどろろ」の踊りの振付を、リーダーを中心に練習しました。

### 1 浙江省交流報告会

- ・グループワーキング報告
- ・班別協議（浙江省交流後の意識や行動の変化）

### 2 静岡県交流ガイダンス

日程、研修内容説明

### 3 グループワーク

- ・「青年意見交換会」テーマ及び役割決定
- ・ホームステイ受入に関する情報交換、打合せ

### 4 中国語講座（ホームステイ受入で使える表現）

講師 王春華 氏、尹燦燦 氏、胡磊 氏、馬治城 氏、  
陳吉天 氏、謝愛聰 氏

### 5 静岡県交流レセプション準備



班ごとに特色のある発表を行いました。



浙江省交流を経て、班の絆も深まります。



中国語講座では、講師を務める留学生に対して、積極的に質問をするなど、熱心に取り組みました。



浙江省の皆さんに静岡を知ってもらおうと、各班でクイズを考えました。



## 第3回セミナー

(10月13日(土))

場所/静岡県庁別館20階 第1会議室A



## 第4回セミナー・閉講式

(12月15日(土))

場所/静岡県庁西館4階 第1会議室ABC



参加者が各々の視点で、ユニークな発表をしました。



本事業の過去参加者は“先輩”。今年度参加者は、架け橋プランに生かそうと熱心に話を聞いています。



浙江省交流で訪問した現地ガス会社のマスコット参加者の発表をあたたく見守っています。



最後は全員で、1(イー)、2(アル)、3(サン) 茄子(チーズ)!

### 1 交流報告会

### 2 グループディスカッション

「日中交流架け橋プランと事業成果について」

※過去参加者(小宮山令子氏、武藤裕子氏、小栗志介氏、伊東秀幸氏、長野裕紀氏)にご協力いただきました

### 3 閉講式

- ・主催者挨拶 静岡県教育委員会 木苗 直秀 教育長
- ・日中青年代表交流実行委員会会長挨拶 栗原 績 会長
- ・実行委員メッセージ

## 浙江省交流

新たな友との出会い



DAY1 (8月8日) ..... 9

静岡から浙江省へ

DAY2 (8月9日) ..... 10

義烏市/杭州市企業研修

DAY3 (8月10日) ..... 11

コース別研修/現地企業研修

DAY4 (8月11日) ..... 12

杭州グループワーキング/ホームステイ対面式

DAY5 (8月12日) ..... 13

ホームステイ/歓迎レセプション

DAY6 (8月13日) ..... 14

日系企業研修/上海交流夕食会

DAY7 (8月14日) ..... 15

上海グループワーキング

DAY8 (8月15日) ..... 16

静岡へ

### 参加者

静岡県青年交流代表団 34人

[内訳] 団長・副団長各1人、実行委員1人、青年28人、事務局3人

## DAY1 静岡から浙江省へ

(8月8日) [AM] 出発式  
[PM] 富士山静岡空港出発 → 杭州蕭山空港到着 → 杭州市内へ移動



出発式  
赤石副団長からご挨拶をいただきました。

### 目的

静岡県内の各分野の青年代表が、中国浙江省の青年代表や両県省の交流関係者、上海駐在邦人等との交流を通して、相互理解と信頼関係を深め、人脈形成や情報交換等を行うとともに、中国の経済、社会、文化等について理解を深める。



富士山静岡空港内  
グループごとに書類の確認中です。



富士山静岡空港内での記念撮影  
チェックイン前に、はじめて参加青年 28 人そろって写真を撮りました。



杭州市へのバス移動  
想像以上の街の大きさに一同驚きました。



杭州市内の風景



杭州市での夕食  
杭州料理は、あっさり味の中華料理でした。

## DAY2 義烏市／杭州市企業研修

(8月9日) [AM] 高速鉄道で義烏市へ移動 → 【特別研修】義烏貨物港、金士敦物流管理会社  
[PM] 高速鉄道で杭州市へ移動 → 【日系企業研修】東芝開利空調有限公司(TCAC)



高速鉄道で移動／杭州－義烏間  
乗車前にセキュリティーチェックが行われるなど、日本の新幹線との違いを体験しました。車内はとても快適でした。



義烏貨物港  
中国で「港」とは、税関・検疫に関わる仕事という意味を持つそうです。



金士敦物流管理会社  
会社概要の説明を伺い、それを受けて、青年が質問をしました。



東芝開利空調有限公司  
会社概要の説明を伺ったのち、工場内を見学しました。その後、5つのグループで中国人若手従業員と40分間にわたり意見交換をしました。



## DAY3 コース別研修／現地企業研修

(8月10日) [AM] 【コース別研修】現地企業 / 杭州市燃气集团有限公司  
現地学校 / 杭州市天長小学校  
[PM] 【現地企業研修】浙江大華技術股份有限公司 → 【商業施設研修】



杭州市燃气集团有限公司  
ユーザーセンターで説明を伺ったのち、バスでグリーンエネルギー体験センターへ移動、見学と若手社員との座談交流会を行いました。



杭州市天長小学校  
茶道チームによるパフォーマンスなど、熱烈的な歓迎を受けました。書道の授業では、参加者も一緒に筆を執り、児童との交流を深めました。



浙江大華技術股份有限公司  
製品展示ホールで、会社概要と製品（セキュリティーカメラ等）の説明を伺いました。その後、日本語を流暢に話す中国人若手従業員と「仕事に対する考え」や「仕事の制度や環境」について、語り合いました。

## DAY4 杭州グループワーキング／ホームステイ対面式／ホームステイ

(8月11日) [AM] 【杭州グループワーキング】  
[PM] 【ホームステイ対面式】浙江文華大酒店 → 【ホームステイ】



1班  
中国茶葉博物館 → 西湖遊覧船 → 清河坊  
中国茶葉博物館の試飲で、お茶の効能などについて会話を楽しみました。

5班  
雷峰塔 → 西湖遊覧船 → 河坊街  
初訪問地の雷峰塔をバックにしたの1枚です。

4班  
龍井村 → 中国茶葉博物館 → 西湖散策 → 清河坊  
龍井村の茶畑での集合写真です。



2班  
靈隱寺 → 六和塔 → 雷峰塔 → 河坊街  
グループみんなで初めて撮った写真です。

3班  
白堤・蘇堤散策  
6人乗りの船の上で、西湖の風を感じることができました。



ホームステイ対面式  
日中ペアが隣り合い、着席しました。

栗原団長からご挨拶をいただきました。

各ペア、出発前に記念撮影をしました。

## DAY5 ホームステイ／歓迎レセプション

(8月12日) [AM] 【ホームステイ】浙江省青年家庭  
[PM] 【歓迎レセプション】梅苑賓館



ホストファミリーとレストランに行った写真です。携帯でQRコードをスキャンしてメニューをダウンロードし、そのまま携帯で注文。



ホームステイでの家族の暖かさには国の違いはありませんでした。



ホストファミリーに手料理を振る舞っていただきました。



まるで物語の世界のような風情ある古い街並みを散策しました。



このホームステイで、国は違えど、幸せはみんな同じなんだと実感しました。



### 歓迎レセプション

浙江省青年連合会王主席(左)に栗原団長から富士山蒔絵額を贈呈しました。



### 余興

各グループで用意した「静岡県クイズ」を披露しました。



### 余興

「WAになっておどろろ」の歌に合わせて日中の参加者全員で踊りました。

## DAY6 日系企業視察／上海交流夕食会

(8月13日) [AM] 杭州市から上海市内へ移動  
[PM] 【日系企業視察】上海高島屋百貨有限公司 → 【上海交流夕食会】上海吉臣酒店



### 上海高島屋百貨有限公司

ネット販売が主流になる中国において、中国のお客様のニーズに応えるため、百貨店ならではの品揃えや日本製品の開拓など、日本企業だからこそできる取組についてのお話を伺う大変貴重な機会となりました。



### 日本館内を視察

商品の説明をお聞きすることで、新しく知ることがたくさんありました。



### 地下食品売り場を視察

商品棚に、日本の食品があふれていました。



### 上海交流夕食会

上海で活躍する県関係者10人の方々をお迎えし、様々なお話をすることができました。青年の中には、恩師との感激の再会もありました。

### 出席者

石井 亘 (静岡県上海事務所 所長)  
 榊原 佑 (静岡銀行上海駐在員事務所 代表)  
 市毛勝二郎 (上海 JTB 国際旅行社有限公司 担当課長)  
 村瀬 栄治 (愛知大学上海交流センター 所長)  
 浅井 正智 (中日新聞社上海支局 支局長)  
 市川 慧悟 (上海東方天野国際貨運代理有限公司 副經理)  
 窪野由利子 (上海日本人学校浦東校 教頭)  
 松原 慶子 (上海日本人学校浦東校 教諭)  
 内藤 康介 (上海日本人学校浦東校 教諭)  
 土田 美華 (H29 年度参加者)



## DAY7 上海グループワーキング

(8月14日) [AM] [PM] 【上海グループワーキング】



1班

上海博物館→豫園→淮海路→外灘→上海タワー  
班員がより親くなった上海グループワーキングです。



2班

新天地→田子坊→豫園→黄浦江南岸  
この景色を見た時、大都会だと感じました。このあと皆で上海タワーに行きました。



5班

思南公館→上海タワー→豫園→黄浦江ナイトクルーズ  
高層ビルのライトアップの夜景は忘れられないですが、たまたま隣に座ったご家族との交流も旅の思い出です。



3班

豫園→新天地→南京西路→南京東路→外灘  
班の皆さんとたくさんお話ししながら、一緒に上海を散策できて、本当に幸せでした。



4班

上海動物園→南京西路→外灘・浦東→外灘隧道→豫園→外灘散策  
ナイトクルーズは満員で乗れなかったけれど、ここまでみんなでワイワイ頑張ったよねの瞬間です。

## DAY8 静岡へ

(8月15日) [AM] 上海浦東空港出発  
[PM] 富士山静岡空港到着 → 到着式



浙江省交流を経て、親くなったグループで記念撮影です。



到着式  
静岡空港に到着し、栗原団長からご挨拶をいただきました。

### 交流参加者の声 (浙江省交流事後アンケートより)

#### 中国について感じたこと

- 実際に中国に行ってみると、いかに自分の知っている中国と違っているかを実感しました。中国に対する見方が変わりました。
- 中国の様子を間近で見ることができ、その発展に驚きました。
- スマホの活用力(キャッシュレス、宅配サービス等)を感じました。
- 中国人の貪欲な吸収力を感じ、日本人も学ばなくてはならないと思いました。
- 客をととても歓迎してくださる国で、人とのつながりの大切さを学びました。

#### 交流に参加して

- 観光ではなかなか行けない中国企業の見学もでき、とても良かったです。インターネットが発展して、外国のことは知ることができですが、実際に目で見て体験しないとわからないことも多いと実感した研修でした。
- 通常の個人旅行ではできない経験ができることが、この交流の魅力だと思います。
- ホームステイは、普通の旅行では絶対にすることがない経験だったと思います。
- ホームステイでは、現地の方との密な交流をすることができ、中国だけでなく、日本についても考える契機となりました。自分にとって一番印象深い交流となりました。ペアの関係を今後も大切にしていきたいです。
- 仕事をしていると横のつながりを作ることが難しいですが、この交流でなければ出会えなかった人たちと会えたことが、参加して一番良かったです。
- 友人ができました。業務に活かせる体験だけでなく、人生そのものに大きな影響を及ぼしそうです。
- 職業、年齢、渡航歴、語学力など、様々な方と一緒に中国へ来て、自分の視野が広がりました。

# 静岡県交流

“ふじのくに”のおもてなし

DAY1 (11月16日) …… 18

歓迎レセプション

DAY2 (11月17日) …… 19

青年意見交換会／県内視察／ホームステイ出発式

DAY3 (11月18日) …… 19

ホームステイ

DAY4 (11月19日) …… 20

県内視察



## 参加者

浙江青年友好代表团 30人

〔内訳〕 団長・副団長各1人、青年28人、  
静岡県青年30人 他

## DAY1 歓迎レセプション

(11月16日) [PM] 【歓迎レセプション】グランディエール ブレークカイ



歓迎レセプション前の役員懇談

浙江青年友好代表団の陳積明団長（右奥右から2人目）、と陳掌軍副団長（右奥左から2人目）

## 目的

静岡県内の各分野の青年代表が、8月の浙江省交流で得られた相互理解と信頼関係をさらに深め、県内の魅力を中国青年に伝えることにより、両県省の人的交流や、経済、産業、文化、教育等の諸分野における交流の活性化に寄与する。



歓迎レセプション  
歓談



記念品交換  
陳団長（左）に、吉林副知事より赤焼きの花瓶を贈呈しました。



ホームステイのパートナーと記念撮影です。



余興（静岡県側）  
「WAになっておどろう」を歌って、踊って、会場がひとつになりました。



閉会  
栗原会長から、ご挨拶をいただきました。

## DAY2 青年意見交換会／県内視察／ホームステイ出発式

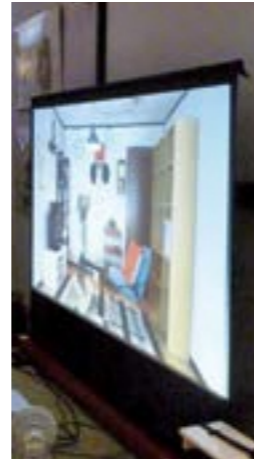
(11月17日) [AM] 【青年意見交換会】  
[PM] 【静岡県地震防災センター視察】→【ホームステイ出発式】→ホームステイ



青年意見交換会  
事前に設定したテーマについて、意見交換を行いました。



静岡県地震防災センター視察  
体験コーナー「地震ザブトン」で、地震の揺れを体験しました。



## DAY3 ホームステイ

(11月18日) [AM] [PM] 【ホームステイ】静岡県青年家庭



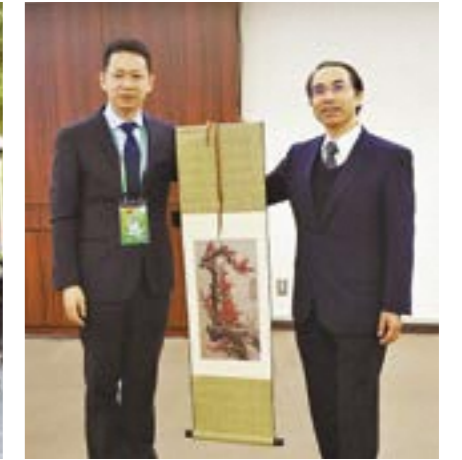
ホームステイ  
青年たちは、静岡県内を案内する中で中国青年と交流し、お互いの文化等について理解を深めました。過去参加者（安部和人氏、薩川泰成氏、長野裕紀氏）にご協力いただきました。

## DAY4 県内視察

(11月19日) [AM] 【静岡県立大学視察】  
[PM] 【ヤクルト本社富士裾野工場視察】



静岡県立大学視察  
交流会の冒頭で、陳団長が挨拶をされました。



記念品交換  
陳団長(左)から、合田副学長に掛け軸を贈呈しました。



ヤクルト本社富士裾野工場視察  
乳製品の培養・調合工程、充填工程の見学を行ったあと、紹介ビデオにより、会社概要や商品の説明を受けました。  
静岡県交流の実施にあたっては、帯同通訳 叶尤奇氏を含め 14 人の通訳の方々にご協力いただきました。

### 交流参加者の声（静岡県交流事後アンケートより）

- 中国の方が、何に対しても興味を持って対応して下さる姿に感謝しました。食事、文化について、日本への関心の高さが理解できました。中国人に対する見方は大きく変わりました。
- グループで行動したため、数人の青年と仲良くなれたこと、我々も中国側も仲間がいたので安心して活動できました。
- 静岡県を案内する中で、自分自身も改めて静岡県の魅力に触れることができ良かったです。静岡県の良さを分かってもらえると、非常に嬉しい気持ちになりました。
- 中国に知り合いが増えたことはとても大きいです。中国語を学びたいというモチベーションがあがりました。
- お菓子のお土産を買う時に、「これは赤ちゃんも食べれる？」とか、ドラッグストアに行った時に、「これは妻に買ったら喜ぶ？」など、爆買する理由は家族への愛情深さもあるのかなと実感しました。
- 中国に関する知識が深まるとともに、中国人のバイタリティあふれる姿に刺激されました。

### Ⅲ 日中交流架け橋プラン 終わりではなく、始まり

#### 赤堀 有紀

- 中国人パートナーと連絡を取り合うようにして、つながりを保っていききたいです。
- 自分が見た中国の文化や歴史、人柄などを、学校の子どもたちや職場の同僚、知人に伝えていきたいです。

#### 大石 直樹

- 来年度以降、本事業の参加者募集に協力する。
- パートナーとのやりとりを継続する。
- 40周年記念事業に参加する。

#### 山崎 美奈

- 中国を訪れた事のない周囲の人々に、自分の目で見てきたものを語り伝えたいです。
- 衝突が起こる一因として“無知”が挙げられると存じます。目まぐるしい中国の変化を追い、情報収集を続けていきたいです。

#### 青柳 千里

- 交流事業を通じて学んだことや感じたことを私の周りにいる人たちに伝え、多くの人に中国のことを知ってもらい、興味を持ってもらいたいです。
- 中国青年や静岡県青年とこれからも連絡をとり、再会をして交流を続けていきます。
- これからも中国や日本の経済・文化に関心を持ち、またそのような仲間を増やしていきたいです。
- 英語や中国語を勉強します。
- 再訪し、中国の方とバスケットボールをやりたいです。

#### 石垣 真

- 語学力の更なる向上(HSK試験6級、中国語検定1級目標)
- 微信など、多くの社交サイトを利用し、静岡県の紹介
- 静岡在住の中国語圏の方との交流事業の参加
- 次回はOBという身分でサポートをする。

#### 吉川 健剛

- 教員として、子どもたちや同僚に中国の現状を伝えていく。
- 今回の交流会で出会った人と連絡を取ったりして、交流を続けていく。

#### 小野田 朋弘

- 交流で出会ったパートナーや企業で出会った方々とのやり取りを続け、情報交換などをする。
- 今回の研修で学んだことや感じたことを自分の周りの人たちに伝える。
- 長期的には、特別支援教育について交流のお話をいただいたので、何らかの形で貢献できたらと思います。

#### 浅岡 大士郎

- 中国語と「やさしい日本語」の勉強を続ける。
- 来日中国人と会話する機会をつくる。
- 日中の教育の違いなどを探求する。

#### 金子 智洋

- 日中の若者が交流する機会があれば積極的に参加していきたい。
- 静岡市にもたくさんの中国人が来てもらえるように魅力を発信していきたい。
- 継続的な交流ができるよう、中国語の勉強を続けていきたい。

#### 田中 誉也

- 今回の訪中で見聞きし、学んだことを、所属校の生徒に還元していきたいと思っています。
- 中国で感じた、中国の青年の志を生徒に伝えられればと考えています。

#### 勝亦 孝弥

- WeChatを有効活用して、パートナーと様々な話題をお互いに出し合い、交流を続けていきたい。
- 周囲に実際に聞いたことや見たことを伝えていくことで、今の中国とその人が考えている中国との相違を無くしていきたい。

#### 鈴木 正彦

- 中国と日本で特別支援教育の交流が実現できたらと思いました。
- 未来を担う子どものモデルになるべき大人としてどうあるべきか…「教育の質」に関して日本と中国での考え方の共通点、相違点について深く話ができる場を設定してみたいと感じました。

#### 渡邊 梓

- パートナーと交流を続ける。
- 生徒に、機会を見つけて中国のことを伝える。
- 中国に関係するイベントに積極的に参加する。
- 中国語を細く長く勉強する。
- 杭州にまた行く。

#### 青山 泰

- 中国の友人と定期的に連絡を取る。
- 中国語を学びながら、中国の歴史、経済、文化等を知る。
- 社内に情報発信をし、この事業に興味をもってもらう。(できれば社内から参加者を輩出する)

#### 榎原 純子

- 家族、友人、同僚に体験談を話す。
- WeChatで交流を継続する。
- 中国に係る情報をキャッチするアンテナを高く持つ。

#### 池谷 遥奈

- 新聞の国際ニュース欄を毎日読み、中国そして世界の情報を収集する。
- 世界共通言語である英語力の向上と中国語の習得に努める。かなり高いハードルだが、TOEIC800点、中国語検定4級を目指して勉強する。
- この事業を通して出会った人々と継続的に連絡を取り合い、つながりを持ち続け、お互いに刺激し合いたい。
- 中国での体験を周囲に話し、職場の同僚・生徒、久しぶりに会う旧友や同期など、他国や異文化に興味がない人にも、興味を持ってもらうきっかけを作りたい。
- 将来また杭州を訪れ、お世話になった方々と再会する。杭州マラソンにも挑戦したい。

#### 多々良 勇也

- 自分の見聞を広げる  
中国のみならず世界中の様々な文化や生活、言語、価値観などを継続的に学び、体験していきたいです。そのような活動の一つに、中国との交流や中国語を学ぶことも入るのではないかと思います。教員、そして人生を楽しむために好奇心を持ち続け、学び続けていきます。
- 生徒に伝える  
私は高校教員として、「知らないことを知る」という楽しさや、異なった文化を持つ人々とコミュニケーションをとることの楽しさを生徒に伝えていきたいです。

#### 青木 智子

- 語学(中国語)の勉強を続けることと、家族、同僚、教え子に中国での経験を伝えることで中国のよさを伝えていく。
- 機会があったら、家族を連れて再度訪中する。

#### 齋藤 裕也

- 日本の企業に勤める者として、中国の企業オフィスはとて美しく、ペーパーレスが進んでいました。私の勤める職場環境から改善を図り、それが大きな流れになっていければと企画しています。
- 就職相談員として、例えば中国に留学したいという学生の相談を受けた時には、より適切なアドバイスや情報提供ができることでしょう。
- 浙江省に友人を持つ者として、誰かと遊びに行くことで、さらに友好の輪が広がればと思います。

#### 都甲 俊介

- パートナーの方との関係を大切にします。
- 自分が見て感じた中国を周囲の人に伝える。
- 語学学習をし、少しでも中国の方とコミュニケーションをとれるようにする。

#### 望月 菜摘

- 中国について学ぶ。(中国語、時事、歴史文化など)
- パートナーとの交流を続ける。
- 中国を再訪する。(中国茶巡り、世界遺産巡りをしたい)

#### 菊池 将吾

- <共に高め合う存在でいること>  
成長を続ける中国、また青年に対し、私も常にビジネスチャンスを逃さず、チャレンジ精神を持つことで自分を一段上に高めます。”共にお互いを高め合う存在”と認識することで同じ土俵に立ち、今度はビジネスの世界で交流出来れば良いと考えます。

#### 田中 総子

- 交流で見聞きしたことを学校現場で伝え、外国へ目を向け、興味を抱く子、世界でも通用するように自分の力を伸ばそうとする子を一人でも増やしたい。
- 報道やインターネットなどの情報だけで分かったつもりにならず、実際に自分の目で見て判断することが「本当に分かる」ということであることに気付かせたい。機を逃さず挑戦していく気持ちを応援するよ、子どもたちに伝えていくつもりである。

#### 安田 大佑

- 本交流でバスケットボールやスポーツ関係者とつながりたいと考えていたが、希望通りのマッチングは叶わなかった。しかし、日中スポーツ交流によって得たコネクションを活用し、高校部活動(バスケットボール)の強化・交流遠征を企画したい。
- WeChatは日中のコミュニケーションツールとして、今後も継続して活用していきたい。

#### 上村 卓月

- 中国に対しては語学勉強に励み、2019年3月に検定を受験する予定です(他県内青年も)。2019年も中国に再訪する予定があるので、少しでも中国語で意思疎通ができるよう、より深くコミュニケーションをとれるよう励みます。
- 趣味の合う県内青年たちとの交流も絶やさず(マラソン、語学など)、できる限り2019年以降の本交流を盛り上げ、関わり続けられたいと思っています。

#### 李 奇

- 以前から参加してきた地域のボランティア活動と毎年浙江省民政庁が本学校に来校して行う福祉学習の訪問に参加することです。
- 本交流を通じて出会った方々と今後も交流していくことです。たくさんのお会いに感謝して、このご縁を大切にしたいです。

#### 渡部 直之

- 中国のことを自分自身で知るために中国語を学習することにしました。中国語を学習するグループができ、中国語検定という共通の目標の下、お互い励ましながら語学習得を目指すとともに、本交流での体験を忘れないように取り組みたいと思います。
- 長期的な交流のプランは、「お茶」を通じて、相互の関係と交流が深化できることを目指したいと思います。

IV 新聞掲載記事

平成 30 年 7 月 1 日 (日) 静岡新聞・朝刊

**浙江省訪問前に中国学ぶ**  
 県教委の代表 28 人が開講式  
 県教委は 30 日、友好交流事業「日中青年代表交流」の開講式を県庁で開いた。2018



28人が参加する「日中青年代表交流」事業の開講式  
 =30日午前、県庁

年度で 8 回目となる事業で、本県からは 28 人が参加。8 月 8、15 日の両省訪問をメインに、年内計 4 回の関連セミナーを通じて培った人脈や経験を今後の活動に生かす。  
 本県の参加者は市町職員や教員のほか、物流や人材派遣など民間企業、20、40 代。8 月は省都・杭州や中国政が進める経済圏構想を「一帯一路」拠点の義烏(ぎう)などを訪ね、学校や企業の視察、ホムステイなどに臨む。  
 開講式で木苗直秀県教育長は「発展著しい中国の現状を肌で感じ、友好の懸け橋として活躍してほしい」と激励した。  
 初日はこのほか、17 年度参加者の報告や中国の政治、経済事情に関する講義、中国語講習などを行った。

平成 30 年 7 月 29 日 (日) 静岡新聞・朝刊

**浙江省青年交流へ事前準備**  
 事業参加者 県庁でセミナー



浙江省でのグループワークに向けて準備する参加者。28日午前、県庁

本県と中国浙江省の「日中青年代表交流」事業が、8 月 8、15 日の訪問に向けた事前準備中。県庁で開かれた。28 日、県庁で開かれた。本県から参加する 28 人が、交流事業で視察する中国の政治、経済事情に関する講義、中国語講習などを行った。  
 特別講義では県立大グローバル地域センター長の下武志氏が、義烏(ぎう)を取り上げた。浜下氏は歴史的な背景を紹介しながら、日用品の世界的な取引市場とされる義烏班(ばん)に議論し、具体的なコース計画を策定可能性を講じた。

平成 30 年 10 月 18 日 (木) 静岡新聞・朝刊



中国を訪問し得られた体験や気づきを報告する参加者  
 =県庁

訪中青年交流 体験を報告  
 県庁で会社員ら  
 本県と中国浙江省との相互訪問事業「日中青年代表交流」(県教委、実行委主催)のセミナーがこのほど、県庁で開かれた。8 月に同省や上海を訪れた本県の青年会社員や教員、行政職員らが、得られた体験や気づきを報告した。  
 参加者ら 28 人は 7 泊 8 日の日程で訪中。現地の企業や世界遺産の西湖、茶産地などを訪れたほか、ホームステイも体験した。セミナーでは「何事にも前向きに関わっていく大切さを学んだ」「まちや人々に活気があり、中国の勢いを感じた」と振り返った。  
 11 月には同省の青年代表が静岡を訪れる。交流のテーマを「日中のワークライフバランス」などとすることも決めた。相互訪問事業は 8 年目で、セミナーは本年度 3 回目。

平成 30 年 11 月 18 日 (日) 静岡新聞・朝刊

**浙江青年友好代表団、県防災センター視察**



地震の揺れを体験する浙江青年友好代表団のメンバー  
 =静岡市葵区の県地震防災センター

代表団 30 人は東日本大震災の津波映像を視聴し、小型地震体験装置「地震サプトン」で再現した震度 7 の揺れなどを体験。一行からは「揺れが長くて怖い」といった感想が聞かれた。陳積明団長は「中国には一般市民に防災を啓発する施設が少ないので参考にしたい」と話した。  
 午前中には、日中混合のグループに分かれ、ワークライフバランスや最高の休日を作るために意見交換も行った。代表団は 19 日まで県内に滞在し、本県側青年団のもとでホームステイしながら、県内各地を観光したり、県立大などを視察したりする予定。  
 (社会部・石岡美来)

震度 7「揺れ長く怖い」

**小型装置で実体験**

県が友好提携する中国浙江省から派遣された浙江青年友好代表団が 17 日、静岡市葵区の県地震防災センターを視察した。



これらの記事は、静岡新聞社の承諾を得て転載しています。



## V 広がる交流の輪

### 中国の友人たちと再会、そして日中文化交流へ

津田 直子さん (日本画家/平成28年度参加)

現在、浙江省中国語研修生として、杭州に滞在しています。

中国へ来てから、日中青年代表交流をきっかけに出会った友人たちと、再会することができました。私の参加した平成28年度はG20があった年だったので、中国でのホームステイが無かったのですが、友人にお願いしてホームステイをさせてもらいました。友人の家族とも交流ができてとてもよかったです。

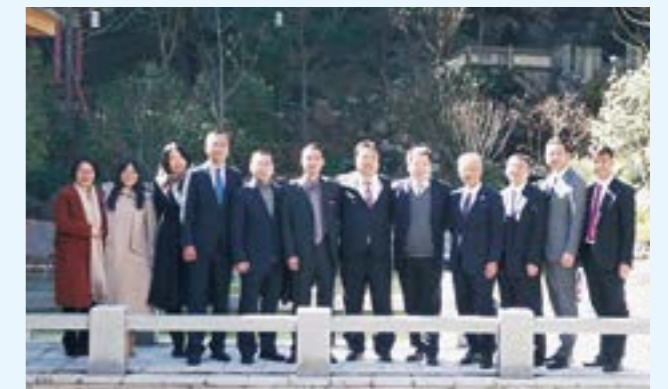
また、懸け橋プランでは、日中文化交流に役立つ活動をしたと考えていたのですが、中国の友人たちとの縁から、少しずつ実現に繋がっています。具体的には、初等中学などを訪問して、日本美術や日本画の紹介をしたり、幼稚園で日本の歌を教えたりする機会を得ることができました。今後、中国のことを日本に紹介することもしていきたいので、帰国後に実現できるように準備していきたいと思います。これからも、出会った友人たちとの縁を大切にしていきたいです。



### 創立100周年を機に交流を ～『朋あり遠方より来る、また楽しからずや』～

長岡 歩美さん (静岡県立三島南高等学校/平成25年度参加)

本校創立100周年実行委員会で「これを機に海外の高校と姉妹校交流は如何か?」と提案がありました。きっかけ作りが難しく見送りとなり。その直後に静岡県浙江省友好提携35周年式典出席のため訪中した私は浙江省教育厅外事处处长様と知り合い相手校を御紹介いただけることになり。絶妙なタイミング、ドンピシャな紹介者様との出会い…神様のお導きよろしく麗水学院附属高級中学とめぐり逢いました。私は友好関係づくりや連絡交渉ほか諸々実務を一人奔走、道なき道を拓きレールを敷くのは骨が折れましたが、支援者に恵まれ平成30年2月に視察訪問、大変な好印象でした。平成30年度は主担当を教育職員に継承、私は引続き外部機関とパイプを繋ぎ人脈形成と協力体制強化に努めました。関係職員と外部支援者などで力を合わせ平成30年12月に生徒引率訪問が実現、大変有意義で実り多き交流となり感無量でした。受け入れ交流も楽しみです。



## VI 平成30年度 関係者名簿

### 1 静岡県参加青年

(以下敬称略、役割/◎ 班長、○副班長)

番号	班	役割	氏名	性別	所属先(申込時)
1	1班		赤堀 有紀	女	袋井市立浅羽南小学校
2			浅岡大士郎	男	静岡県立浜松工業高等学校
3			大石 直樹	男	静岡県教育委員会社会教育課
4		◎	金子 智洋	男	鈴与株式会社
5			田中 誉也	男	磐田市立豊田中学校
6		○	山崎 美奈	女	清和海運株式会社
7	2班		青柳 千里	女	静岡県農業協同組合中央会
8		◎	石垣 真	男	静岡県総合研修所 もくせい会館「静岡県職員会館」
9			勝亦 孝弥	男	小山町役場
10		○	吉川 健剛	男	裾野市立富岡第二小学校
11			鈴木 正彦	男	静岡県立藤枝特別支援学校
12			渡邊 梓	女	富士市立高等学校
13	3班		池谷 遥奈	女	静岡県立藤枝西高等学校事務室
14		○	菊池 将吾	男	株式会社天野回漕店
15		◎	多々良勇也	男	静岡県立熱海高等学校
16			田中 総子	女	磐田市立富士見小学校
17			八木 翼	男	株式会社サンワネット
18			安田 大佑	男	静岡県立浜松商業高等学校
19	4班		青木 智子	女	磐田市立富士見小学校
20			上村 皐月	女	NPO法人掛川市体育協会
21		◎	齋藤 裕也	男	株式会社東海道シグマ
22		○	李 奇	男	静岡福祉大学
23			渡部 直之	男	鳥田市役所
24		◎	青山 泰	男	株式会社虎屋
25	5班		小野田朋弘	男	静岡県立藤枝特別支援学校
26			榊原 純子	女	静岡県信用保証協会
27		○	都甲 俊介	男	南伊豆町立南中小学校
28			望月 菜摘	女	静岡県立清水東高等学校事務室

### 2 実行委員会

役職	氏名	所属等(事業実施時)
会長(静岡県青年交流代表団団長)	栗原 績	静岡県日中友好協議会 理事長
副会長(静岡県青年交流代表団副団長)	赤石 達彦	静岡県教育委員会理事兼社会教育課長
委員	大瀧 敬久	一般社団法人静岡青年会議所 副理事長
	薩川 泰成	平成29年度参加者代表
	篠宮 晋士	静岡県立藤枝西高等学校長
	杉浦 衛	藤枝商工会議所 専務理事
	杉本 啓輔	平成29年度参加者代表
監事	土村 暁文	静岡県地域外交局地域外交課長
	鈴木 朝子	静岡県広報協会 常任理事兼事務局長
	田中 雅代	元静岡県立静岡視覚特別支援学校 主任

### 3 浙江省参加青年

番号	浙江省交流			静岡県交流		
	氏名	性別	所属等	氏名	性別	所属等
1	王 霞	女	寧波市青少年宮藝術活動部	沈佳欢	女	浙江省直屬機關青年聯合會
2	钱 亮	男	湖州市旅游投資發展集團有限公司	斯 科	男	遂昌縣青年聯合會
3	符 杰	男	浙江省人民政府外事僑務辦公室	陈 坤	男	杭州市民防局
4	唐志军	男	杭州華電江東熱電有限公司			
5	应方淦	男	浙江警官職業學院	曹建国	男	浙江省教育廳
6	李立平	男	杭州華電江東熱電有限公司	袁 媛	女	中石化鎮海煉化公司
7	周 蜜	女	國網浙江省電力有限公司	杨娇阳	女	天台县田禾粮食专业合作社
8	鲍国峰	男	中鋼集團新型材料有限公司	陈 强	男	共青團台州市路桥區委
9	夏杰飞	男	浙江花都美容美髮培訓中心黨支部	童周亮	男	宁波市志願者協會
10	邓 迪	男	浙江傳媒學院	卓亨達	男	浙江大學青年志願者指導中心
11	曹 健	男	金貨市蘋果樹幼教集團	金王来	男	網大影業(杭州)有限公司
12	谢小龙	女	威廉的太妃糖民宿	李 莉	女	衢州市青年聯合會
13	潘 榕	女	立命館亞洲太平洋大學學生	王 燕	女	青年時報社
14	沈 正	男	國網浙江嵊州市供電有限公司	韦 魏	男	寧波梅山保稅港區大咖啡聯盟投資管理有限公司
15	尤盈来	男	興業銀行股份有限公司	汪俊斐	男	中國計量大學創新實踐教育中心
16	曾 鹏	男	嘉興市青少年宮事務部	孙 聪	女	浙江省人民檢察院宣傳處
17	张 林	男	浙江省種植業管理局			
18	陈煜斌	男	浙江省青年創業就業基金會			
19	吴铁雁	女	中國建設銀行嘉興分行	吴丹娜	女	杭州市上城區青少年活動中心
20	陈晓咪	女	浙江省團校創業服務中心	钱 丹	女	浙江省青少年發展基金會
21	卢森军	男	金貨市明家裝飾工程有限公司	吴荣法	男	浙江省志願者協會
22	李 峰	男	浙江匯林科技孵化園有限公司	华建伟	男	共青團安吉縣委
23	陈洪全	男	湖州市財政局	吴 燕	女	湖州市青少年宮培訓部
24	何林海	男	杭州良渚麟海蔬果專業合作社	沈斌国	男	浙江鳳凰源農業科技有限公司
25	郑英豪	男	寧波市鄞州博悅照明有限公司	黄江荣	男	舟山市青年聯合會
26	梁颖睿	女	鳳凰衛視駐紹興	陈晓咪	女	浙江省團校創業服務中心
27	王晨阳	男	浙能資本控股有限公司	王 剑	男	共青團紹興市越城區委
28	田 芳	女	杭州鴻雁電器有限公司	林小露	女	溫州市青年聯合會
				田 凯	男	嘉興市青年聯合會
				胡 滢	女	浙江省國有資本運營公司
				许 涛	男	財通證券股份有限公司

※本表と前ページ「1 静岡県参加青年」の同番号の青年同士がペアを組みホームステイを実施

### 4 中国浙江省青年連合会役員

役職	氏名
主席	王 征
副主席(浙江青年友好代表団団長)	陈积明
秘書長	陈 波
副秘書長	景丽敏
副秘書長	蒋 成
副秘書長(浙江青年友好代表団副団長)	陈掌军



Shizuoka Prefecture

## 日中青年代表交流

平成31年3月

編集発行 / 日中青年代表交流実行委員会  
静岡県教育委員会社会教育課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話 054-221-3305・3312

E-mail [kyoui\\_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:kyoui_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp)

表紙デザイン / 矢野 日奈子さん (静岡県立駿河総合高等学校 2年)